



真空熱処理炉（カスタマイズモデル）

- 本社所在地：愛知県あま市
- 事業概要：真空炉、電気炉、燃焼炉及び  
付帯機械設備、燃焼設備、制御装置  
の設計、製作、施工、金属熱処理及び  
CVDコーティングの受託加工
- 常時使用する従業員：121名  
(2026年1月時点)
- 現在の売上高：32億円  
(2025年7月期)
- 法人番号：3180001098443
- Web：https://nakanihon-ro.co.jp/

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役  
後藤 峰男

## 熱い想いの、その先へ ～We Are Only One～

当社は設立以来、工業炉専門メーカーとしてお客様の要望に応え、技術を積み上げてまいりました。独自開発の加圧冷却方式真空炉や日本製鉄様・トヨタ自動車様との共同特許など、確かな実績を築き、1983年からは製造と加工を融合させることで、数百社のお客様から信頼をいただいております。会社の成長は、共に働く社員とその家族全員の幸せを大前提とするという理念のもと進めており、100億企業への成長は、この技術力で日本のモノづくりを支える使命を果たすための重要な通過点と位置づけています。熟成された技術とノウハウで高効率・省エネソリューションを提供し、お客様の競争力向上に貢献します。地域社会には人材育成と雇用創出を通じて産業発展を支え、次世代へ誇れる技術基盤を継承してまいります。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

- 2035年の売上高100億円達成に向けた成長戦略を以下のとおり実施する。
- 【既存事業拡大】
1. 防衛・航空宇宙分野取引拡大（防衛予算増額）
  2. ハイブリッド車モーター用磁石製造装置製造への挑戦
  3. 磁石製造装置のOEM供給への挑戦
- 【新規事業】
4. 半導体向け黄燐製造の国内自給化（輸入100%から国内サプライチェーン構築：経済安全保障）
  5. 水素（エネルギー）関連事業への挑戦

### 課題

- ・生産体制の抜本的強化：本補助金を活用し、高度な自動化・大型化に対応した生産ラインの整備
- ・防衛関連機器、航空機の重要部品向け真空炉の高度化（航空宇宙規格AMS仕様対応）
- ・「国産再生黄燐」プロジェクト（東北大学との連携）への参画
- ・ハイブリッド・EVシフトに伴う磁石の高性能化（レアアース低減）
- ・OEM依存リスクと価格競争力の確保

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

- ・航空宇宙、防衛関連機器企業の取引強化
- ・官公庁、大手防衛産業との連携強化
- ・デジタル技術DXの活用による生産性向上
- ・中型炉のコストダウン
- ・連続浸炭炉への本格参入
- ・海外市場（主にASEAN・北米）の開拓強化
- ・アクティブスクリーンプラズマ窒化技術や高効率・高精度な真空炉の研究開発強化

### 実施体制

- ・航空宇宙、防衛関連分野における営業、設計、品質保証、情報管理が一体となった専門チーム構築
- ・防衛・航空宇宙の国内トップ3社、三菱重工業、川崎重工業、IHIとの取引強化
- ・東北大学・NEDOの研究機関との連携強化（産官学連携）
- ・既存バッチ式技術をベースに、搬送機構や連続処理制御の専門エンジニアを配置・育成
- ・海外市場の重点地域における技術サポート拠点の段階的設置

売上高100億円実現に向けた経営戦略

・防衛・航空宇宙分野でのトップシェア獲得  
（防衛費増強）

航空機および防衛関連機器の重要部品に使用されるAMS規格の真空炉の高度化を図り、国内主要3社への供給体制を強化することで、業界トップクラスのシェアを目指す

・技術革新と半導体向け国産再生黄燐製造  
（経済安全保障）

真空炉技術や熱処理技術の先端開発に注力し、新技術への投資を拡大。特に航空宇宙・磁石分野で培った「極限まで不純物を排除する真空・雰囲気制御技術」を黄燐回収装置へ転用。汚泥からの黄燐を高純度精製するリサイクル技術を早期に確立する。

・MgH<sub>2</sub>水素サプライチェーンへの技術参画  
（脱炭素・クリーンエネルギー）

(株)トクヤマとの協業により北海道で推進する水素化マグネシウム活用型水素供給網構築に、専用炉製造で協業参画。MgH<sub>2</sub>技術の核となる水素炉製造を担い、札幌市を起点とした実証事業からの本格展開により安定収益基盤を構築する

・品質管理とカスタマイズサービスの向上

顧客のニーズに応じたカスタマイズ可能な製品設計と製造を行い、厳格な品質管理体制を構築することで製品品質を向上。顧客からのフィードバックを活用し、満足度向上に注力する

・デジタル技術の積極的な活用

IoT、AIやビッグデータを用いた生産効率の向上を図り、迅速な情報共有と意思決定を目指す

目標とする売上高



100億達成

事業区分	事業内容	売上比率
工業炉製造部門	真空炉、電気炉、燃焼炉などの各種工業炉を完全受注生産で提供し、顧客のニーズに応じたオーダーメイドの炉を設計・製造	87%
熱処理・CVDコーティング受託部門	自社設計の真空熱処理炉を使用して、金属部品の熱処理及び化学蒸着（CVD）技術を用いて、炭化チタン(TiC)、窒化チタン(TiN)などのコーティングを実施	13%